

		茨城県	栃木県
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	茨城県立リハビリテーションセンター (笠間市鯉淵 6528-2) (0296-77-0626 代表) (0296-78-2605 高次脳機能障害相談専用)	とちぎリハビリテーションセンター (栃木県宇都宮市駒生町3337-1) (028-623-6114 高次脳機能障害相談用)
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	相談・指導課 (0296-77-8614) 常勤2名(社会福祉士・心理判定員) 施設業務と兼務。 非常勤職員1名(支援員)	相談支援部 発達・高次脳機能障害支援課 (028-623-6114) 常勤3名(保健師、行政、作業療法士)
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	茨城県立リハビリテーションセンターが実施している就労移行支援事業の利用により支援を行っている。 個別のケースに関しては障害者就業・生活支援センター等の地域の支援機関との連携を取りながら、対応している。 訓練施設連絡会を開催し、地域の障害者就業・生活支援センターにも声をかけて就労支援に関してのネットワーク構築を図っている。	就労機関ネットワーク構築に向け、公共職業安定所の研修や障害者就業・生活支援センター等担当者会議等に参加し、啓発、支援の実際等について情報交換をしている。 就労に向けた個別支援に関しては、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター等と連携し支援すると共に、地域の相談支援事業所連絡会等に参加し、連携の充実を図っている。 小児の社会参加支援に関しては、個別支援で対応している。
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	支援従事者研修会(年4回) 訓練施設連絡会(年3回) 特定非営利活動法人 高次脳機能障害者支援ネット主催の高次脳機能障害ファシリテーター養成講座の開催協力	県民向けセミナー 医療機関等の専門職向け研修 行政職員等向け研修 福祉関係職員向け研修 家族教室、家族向けピアカウンセリング研修
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	特定相談支援事業所等関係機関への連携依頼訪問 関係機関主催研修への協力 支援情報のホームページの随時更新 (http://www.pref.ibaraki.jp/hoken/koujinou/) 市町村広報誌への掲載依頼 支援小冊子配布	巡回相談 地域支援(出張相談、支援マニュアル) 連携構築(支援連携協議会、家族会支援)
6	事業実施上の課題等	・研修会への参加者が少なく、講演内容の検討が必要である。 ・特定相談支援事業所訪問を行っているが、高次脳機能障害者の相談は少なく、引き続き、普及・啓発に力を入れていく必要がある。 ・県内44市町村あるが、広報誌への掲載は約1/4にとどまっている。	相談支援従事者の専門性の確保と身近な機関でのバックアップ体制。 診療可能な医療機関の増加に向けた取組と、医療と地域の連携体制。 県民の障害理解への普及啓発。

		群馬県	埼玉県
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	前橋赤十字病院 (前橋市朝日町三丁目21-36) (027-224-4585 代表) (027-224-2995 高次脳機能障害支援相談窓口専用)	埼玉県高次脳機能障害者支援センター(埼玉県総合リハビリテーションセンター内) (埼玉県上尾市西貝塚148-1) (048-781-2222 代表) (048-781-2236 高次脳機能障害者支援センター)
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	医療社会事業課 (027-224-4585) (027-224-2995) 常勤2名(社会福祉士・精神保健福祉士)	埼玉県高次脳機能障害者支援センター (048-781-2236) CW(常勤3名) CW(非常勤1名) 上記4名を含む11名が兼務で高次脳機能障害支援センターの相談業務を担当している。
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	<p>潜在化している若年層へのアプローチについては、10代・20代の個別ケース支援、個別ケース会議を通じて、就学児の高次脳機能障害支援について関係者と課題を共有した。また、10代の当事者に協力をいただき、専門職研修で自身の経験などをお話いただいた。(平成26年12月末現在、10～20代ケースの若年層ケースは全体の11%となった)</p> <p>高次脳機能障害者と家族及び支援者が利用可能な資源や本人の状況を共有するためのツール「ぐんま高次脳機能障害あんしんブック ver.1」を発行し、ホームページにて配布を開始した。また、活用方法などを専門研修にて紹介し、周知を図った。</p> <p>ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会(損保協会助成)を平成26年1月25日に実施する。講演会及び、県内での脳機能障害支援の連続性をテーマにシンポジウムを予定している。</p> <p>高次脳機能障害者と家族の教室(こころの健康センター主催)の運営協力を実施。家族ミーティングにて個別相談にも引き続き応じている。</p> <p>高次脳機能障害支援マップ作成事業においては、ホームページ公開へ向けて現在も調整中である。</p>	<p>平成25年度に引き続き、県内の支援ネットワーク構築のため、保健所が開催する管内精神保健福祉担当者会議に出席する。</p> <p>また、市町村や事業所等が実施する高次脳機能障害に関する事例検討会等に参加する。</p> <p>就学・就労・職場復帰調整は、総合相談窓口での相談、専門外来での評価・診断、外来リハビリ、障害者支援施設利用(生活訓練から就労移行支援)において実施する。</p> <p>日中活動の場については、相談支援事業所等から紹介・調整・相談を受け、訪問にて事業所支援等を行っていく。</p> <p>障害者支援施設部門では、障害の適性に応じて、生活訓練の他に復職や就労に向けた訓練と支援を提供している。訓練は、障害の特性を踏まえた複数のメニューを設けて個別に対応している。</p> <p>運転再開支援について、アンケート調査等を実施し、検討を進めていく。</p>
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	高次脳機能障害に関する研修への運営協力実績 4件 ・こころの健康センター主催 ・前橋市自立支援協議会相談支援部会主催 ・群馬県社会福祉士会主催 ・群馬高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会主催	県民向けセミナー 市町村・関係機関等職員向け研修会 医療関係者向け研修会
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	個別支援(延247件) ケース会議(実8件) 関係機関とのネットワーク構築(支援連絡会2回) 普及啓発(ぐんま高次脳機能障害あんしんブックの作成、配布) 研修会の運営協力(講師、座長、シンポジストの受諾4件)	当事者・家族によるピア・カウンセリング事業
6	事業実施上の課題等	学校(復学・進学)との協働支援について検討 自動車運転再開を含む移動支援に関する支援について検討	関係機関・市町村とのより一層のネットワーク構築 小児高次脳機能障害に対する支援のあり方を検討

		千葉県(千葉リハビリテーションセンター)	千葉県(旭神経内科リハビリテーション病院)
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター併設 (千葉県千葉市緑区誉田町1-45-2) (043-291-1831(代表))	旭神経内科リハビリテーション病院 (千葉県松戸市栗ヶ沢789-1) (047-385-5566)
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	千葉県千葉リハビリテーションセンター (連絡先:1に同じ) ・高次脳機能障害支援センター 2名(心理発達治療士・SW) ・地域連携部 相談室 2名(SW) ・総合療育センター 愛育園 1名(指導員) ・障害者支援施設 更生園 2名(生活支援員)	旭神経内科リハビリテーション病院 (連絡先:1に同じ) ・リハビリテーション部/ST・OT(各1名) ・医療相談室/MSW(1名)
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	小児期発症・学童期の支援 併設の医療型障害児入所施設に入園し、隣接の特別支援学校への通学しながら集中的なリハビリを実施するシステムを活用。隣接校の特別支援教育コーディネーターの協力を得ながら復学先の学校とも早期から連絡を取り、退園までの間の移行支援会議にリハスタッフが参加する。退園後は、グループ訓練を含めニーズに応じたフォローを行いながら、進級進学などの機会に学校訪問や連携会議をとって必要な支援を行っている。 就労定着支援 高次脳機能障害支援センター、更生園のプログラムを経て、新規就労する利用者が増加しており、就労定着支援のあり方が課題となっている。試みとして、集団活動で利用者同士の交流を図り、就労の状況を話しやすい雰囲気の中で交流を目的とした集団活動を開始した。今年度、就労定着の要因を探るための調査を行っている。 小児期発症・青年期の支援ニーズの検討の為の調査 当センター利用者を対象に、発症後の学校選択と青年期における就労支援サービス利用の実態把握を目的とした聞き取り調査実施。	就労懇話会(当事者によるピア・カウンセリング事業) 外来集団訓練の実施
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	県民向けセミナー:高次脳機能障害リハ講習会:1回/年 医療機関向けセミナー:高次脳機能障害千葉懇話会:1回/年 当事者家族向け交流会:1回/年 その他 介護福祉機関並びに市町村担当者向けセミナーへの協力:随時	医療・福祉・家族向け講習会 (講師 太田令子先生、年6回奇数月予定) 医療・福祉関係者向け研修会(6月・10月) 家族会講習会(9月)
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	損保研究事業「自動車運転再開とリハビリテーション」への参加:自動車運転再開に関する評価と支援の検討 サポートボランティアの活用による当事者のボランティア活動支援に関するボランティアコーディネート団体との協働事業	就労懇話会(当事者によるピア・カウンセリング事業) 家族会および作業所での集団訓練支援(それぞれ月1回)
6	事業実施上の課題等	人事異動のある行政機関、多様な障害への対応が求められる相談支援事業所、それぞれの相談窓口を高次脳機能障害の支援についてどのように継続的な周知を図るか。 個別支援事例をとおしての関係から、地域のネットワーク作りはどう進めるか。	高次脳支援にかかわるコーディネーター業務に対する診療報酬等の点数化が無いため、他の民間医療機関ではなかなか動いてくれず、支援拠点機関である当院へ依頼が増え、負担増加傾向にある。いまだに障害年金や高次脳障害での精神障害者手帳の診断書を書けない(書いてくれない)医療機関、Drがおられ、そちらでも書けることを説明してもご理解いただけず、当院へ紹介・依頼されることが多い。

		千葉県(亀田リハビリテーション病院)	神奈川県
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	亀田リハビリテーション病院 (千葉県鴨川市東町975-2) (04-7093-1400(代表)) (04-7092-2211(夜間))	神奈川県リハビリテーションセンター (神奈川県厚木市七沢516) 地域 支援センター(046-249-2602) 医療福祉総合相談室(046-249-2612)
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	亀田リハビリテーション病院 (連絡先:1に同じ) ・リハビリテーション室/OT(1名) ・総合相談室/MSW(1名)	相談支援コーディネーター (医療福祉総合相談室) (046-249-2612) 常勤MSW 4名 臨時職員MSW 1名 地域担当 3名 病棟担当 2名
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	自動車運転可否の評価体制について、教習所などと事例を蓄積 障害者就業・生活支援センターへ紹介し復職・就労支援	H19年度より、障害保健福祉圏域を対象としたネットワーク作り事業を実施(H24年度までに県内6圏域での事業を終了)し、地域内で相談支援事業所等と連携した個別支援・地域支援を実施した。 また、就労支援については、障害者職業センター、就労支援センター、ハローワーク、しごとサポーター(県単事業)と連携した支援を行った。その結果、地域での相談支援、神奈川県リハでの評価・専門的支援、地域での日中活動、職業準備性が整うことでの就労支援に至る一貫した支援体制が構築された。今後は、地域生活・就労した方の継続的な支援、主な利用者を高次脳機能障害とした事業所間での連携構築が課題となっており、地域での当事者・家族会への支援、事業所間のネットワーク連絡会を実施する。
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	地域の障害者支援の関係者に、高次脳機能障害の特徴について講義。地域住民に高次脳機能障害に関係した映画を上映 高次脳障害者への「支援事業」の説明	高次脳機能障害セミナー理解編 高次脳機能障害セミナー実務編 高次脳機能障害セミナー就労支援編
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	家族会の活動内容を支援	事例検討会 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会
6	事業実施上の課題等	特になし	各市町村相談支援機関との連携 支援対象者を高次脳機能障害者に特化した事業者間での情報共有

		新潟県	山梨県
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	新潟県高次脳機能障害相談支援センター(新潟県精神保健福祉センター内) (新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザハート館) (025-365-0177)	甲州リハビリテーション病院 (山梨県高次脳機能障害者支援センター) (山梨県笛吹市石和町四日市場2031) (055-262-3121)
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	新潟県高次脳機能障害相談支援センター(新潟県精神保健福祉センター内) (新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザハート館) (025-365-0177) 嘱託1名(専任) 上記1名の他、新潟県精神保健福祉センターの精神保健福祉相談員(6名)も相談業務を兼務している。	甲州リハビリテーション病院 (山梨県高次脳機能障害者支援センター) (055-262-3121) 医師(常勤兼務1名) 社会福祉士・精神保健福祉士(常勤1名) 社会福祉士(常勤兼務1名) 作業療法士(常勤兼務3名) 言語聴覚士(常勤兼務1名) 臨床心理士(常勤兼務1名) 看護師(常勤兼務1名)
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	平成25年度に高次脳機能障害者の福祉就労の実態把握を目的とした調査を実施。今年度、結果のまとめと分析、就労支援事業所の受入れにかかる課題等の整理を行った。 児童については、個別の事例を通じての支援、連携にとどまっているが、今年度、関係機関からの聞き取りにより、現状を把握する予定。	個別事例を通じた関係機関との連携 関係機関への普及啓発、研修会、会議等での連携の充実 ・個別の事例を通じた連携、支援に留まる
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	地域支援拠点担当職員研修会 医療関係職員研修会 圏域別支援従事者研修会 ケース検討会 県民向けフォーラム	県民向け研修会 圏域別研修会 専門職学習会
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	家族教室・家族のつどい 支援拠点運営委員会 地域支援拠点連絡会議 関係機関主催の研修会への運営協力 圏域における地域支援ネットワーク構築(医療機関との情報交換) 高次脳機能障害に関する広報(リーフレット及びガイドブックの配布、ホームページでの情報発信)	研修講師派遣 自立支援協議会、圏域別相談支援連絡会、就労支援ネットワーク等への参加 高次脳機能障害および支援拠点機関の広報 ・パンフレット配布 ・ホームページでの情報発信
6	事業実施上の課題等	地域における医療保健福祉関係者間での高次脳機能障害者支援に関する連携、情報共有が不足している。 障害福祉サービス事業所等における受入れ拡大に向けた取組が必要。	県内4圏域の自立支援協議会、相談支援連絡会、就労支援ネットワーク会議等へ参加することで、基幹型相談支援センター、計画相談を行う相談支援専門員、就労支援を行う障害者就業・支援センター、ハローワーク、教育関係者と顔の見える関係づくりを進めている。個別事例をとおり連携や支援も進んでいるが、県内の地域格差も同時に生れている。 また、医療と福祉の連携については依然課題として残っている。

		長野県
1	支援拠点機関名 (住所) (電話番号)	<p>長野県立総合リハビリテーションセンター (長野市大字下駒沢 618-1) (026-296-3953 代表)</p> <p>JA 長野厚生連 佐久総合病院 (佐久市臼田 197) (0267-82-3131 代表)</p> <p>社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 (松本市本庄 2-5-1) (0263-33-8600 代表)</p> <p>社会医療法人健和会 健和会病院 (飯田市鼎中平 1936) (0265-23-3115 代表)</p>
2	支援コーディネーター (所属) (連絡先) (職種・員数)	<p>長野県立総合リハビリテーションセンター 更生相談室 (026-296-3953 代表) 常勤1名(兼務)心理判定員 ほか所内各部署で対応</p> <p>JA 長野厚生連 佐久総合病院 医療福祉相談室(0267-82-3131 代表) 常勤1名(兼務)MSW ほか4名</p> <p>社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 医療連携センター(0263-33-8600 代表) 常勤1名(兼務)MSW</p> <p>社会医療法人健和会 健和会病院 リハビリテーション科(0265-23-3115 代表) 常勤1名(兼務)MSW ほか1名</p>
3	就学・就労などの社会参加支援に対する取組み状況(障害児者の実態把握と分析などの調査研究を含む)	<p>高次脳機能障害者の受入れ可能な事業所等の一覧をホームページに掲載。随時内容を更新している。 (就労系は H26.12 末時点で 42 事業所が受入れ可) 【長野県】</p> <p>施設部門において高次脳機能障害者の一般就労・福祉的就労を目的とした支援を実施している。模擬会社活動を中心に、1 日を通じた訓練プログラム(個別訓練、集団訓練)を組んでおり、社会生活に近い状況を作っている。 【県立総合リハビリテーションセンター】</p> <p>地域の作業所職員、就労支援員及びジョブコーチを集めて月1回グループ訓練の勉強会を行っている。【相澤病院】</p> <p>高次脳機能障害者の就労支援のため、協議会就労部会へ月1回参加。【健和会病院】</p>
4	研修会やセミナーなどの開催状況(予定を含む)	高次脳機能障害者研修会(県内4圏域ごとに年1回開催)
5	その他の主な事業内容(予定を含む)	<p>高次脳機能障害者支援拠点病院連絡会議の開催</p> <p>県 HP 上の高次脳機能障害に関するページの改修を行い、必要な情報を見易い形で提供、普及啓発を行っていく。</p> <p>障害者総合支援センターを対象に、高次脳機能障害者からの相談内容や不足していると思われる社会資源に関する調査を実施した。集計結果を支援拠点機関等の関係機関で共有し、対応を検討していく。</p>
6	事業実施上の課題等	<p>地域支援ネットワークの構築(医療機関、障害福祉サービス事業所、総合支援センター等)</p> <p>社会資源(障害福祉サービス事業所等)の把握及び増加に向けた取組</p>